

『さっきゃま魂』

R4. 12.23 第13号

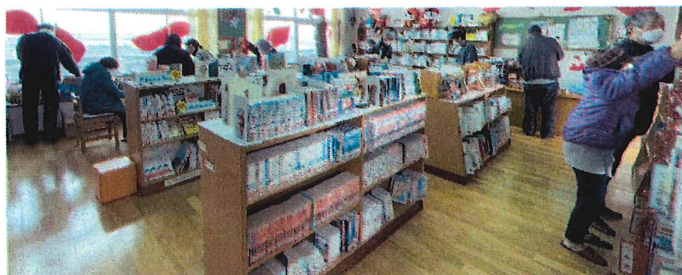
発行人：校長 中山 未永

地域に支えられて・・・

12月14日 崎山地区まちづくり協議会長の古里幸一様に、6年理科のGTとして来校していただきました。お話の内容は、ふるさとの大地の成り立ちや身近な火山・地層等の紹介でした。スクリーンには、手作りの動画や自身で撮影された写真が次々と映し出され、古里様の優しい言葉と温かい雰囲気に取り込まれた子ども達は、ふるさとの自然について深く学ぶことができました。



また、同じ日に、さゆり会の方々が15名ほど来校され、図書室の飾り付けをしてくださいました。室内には、クリスマスをイメージさせるものがたくさん飾り付けられ、図書室を訪れた子ども達も、うきうきした気持ちで本に親しむことができるだろうと感謝の気持ちでいっぱいです。



レベルアップしたこと！



76日間の2学期が終わりました。子ども達は、日々の学習や行事、友達との関わり等を通して、いろいろな面でレベルアップしたと感じています。その中で、特に嬉しく感じていることを3つ、終業式の中で子ども達に伝えました。

一つ目は、「朝の活動」です。暑い日も、寒い日も、張り切って運動場を走る子どもが増えてきました。学校では、「たくさん走ることも、毎日続けること」を重視し、『1日1周でもいいから』という声かけをしてきました。走り続けることは、とてもきつく、辛いことかもしれませんが、毎日続けることで、まちがいなく、子ども達の心と体が鍛えられ、着実にたくましく成長していると感じています。さらに、走り終わった子どもは、じょうろを手にして花壇の水やりもしています。心を込めて毎日お世話しているので、花も野菜も順調に育っています。もちろん、子ども達の心もどんどん成長していると感じています。

二つ目は、「話の聞き方」です。それを強く感じたのは、校外学習の時でした。たくさんの質問をする1・2年生、いろいろな話を楽しそうに聞いている3年生、メモを取りながら真剣に聞いている4年生、学校で身に付けた力を校外でも100%発揮することができました。

三つ目は、「もくもく掃除」です。寒くなり雑巾を持つ手も赤くなっていますが、隅々まで丁寧に掃除をしています。学校のため・みんなのために頑張る子ども達のおかげで、2学期も気持ちよく学校生活を送ることができました。

40名の子ども達の確かな成長を実感でき、とても満足できる2学期でした。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力のおかげで、充実した毎日をおすごすことができました。本当にありがとうございました。

今年も残り8日となりました。どうぞ、良いお年をお迎え下さい。そして、令和5年もどうぞよろしくお願ひ致します。